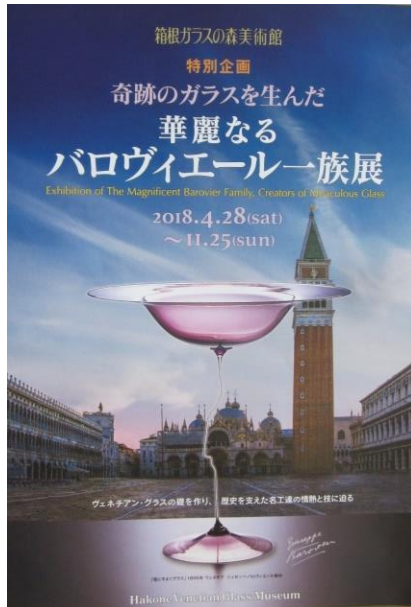


## 奇跡のガラスを生んだ華麗なる「バロヴィエール一族展」

箱根ガラスの森美術館（箱根・仙石原） 2018.04.28～11.25



本展は、ヴェネチアン・ガラスの礎を作り、奇跡のガラスを生み歴史を支えた名工達の情熱と技に迫る「バロヴィエール家」特別企画としての開催である。

ガラス職人「バロヴィエール一家」は、15世紀に世界初の透明ガラスを発明した「アンジェロ」から、19世紀末に糸のように細い脚で自立するガラスの制作に成功した「ジュゼッペ」に至るまで、常にガラスの可能性に挑戦した「ヴェネチアン・ガラス」の発展に深くかかわってきた一族である。

展覧会では、一族の名工達が発明した数々の技法を紹介するとともに、世界でも現存数が少ない「風にそよぐグラス」や、本邦初公開の「バロヴィエール家のコレクション」等「約80点」を展示し一族の探究心に迫っている

《風にそよぐグラス》 1895年 ヴェネチア ジュゼッペ・バロヴィエール工房制作



ヴェネチアのバロヴィエール工房では、ガラス技術を吸収して新たな表現の研究が行われ、「プリマヴェーラ（春）」と呼ばれる白みを帯びて細かい筋目のクラッキングの入ったガラスシリーズや「加熱半溶融熱彩色」という新たな技法に発明に繋がり、《風にそよぐガラスのシリーズ作品》が作られることになる。